

### 3 - 6 関東地方の深さ別震央分布図

#### Seismicity maps of the Kanto District for the Every 10 km Thick Layers.

東京大学地震研究所  
Earthquake Research Institute,  
University of Tokyo

この資料は、東京大学地震研究所堂平微小地震観測所、地震活動研究室、地震移動観測班、海底地震研究室が、1971年7月から1972年6月までに観測したデータを用いて、地震予知観測センターで決定した震源を、深さ10 kmごとの震央分布図（第2図）および東西断面図（第3図、36°Nの南北各50 km幅について）の形にまとめて示したものである。1972年1、4月分は処理の都合で除き、実質10ヶ月分に対するものである。

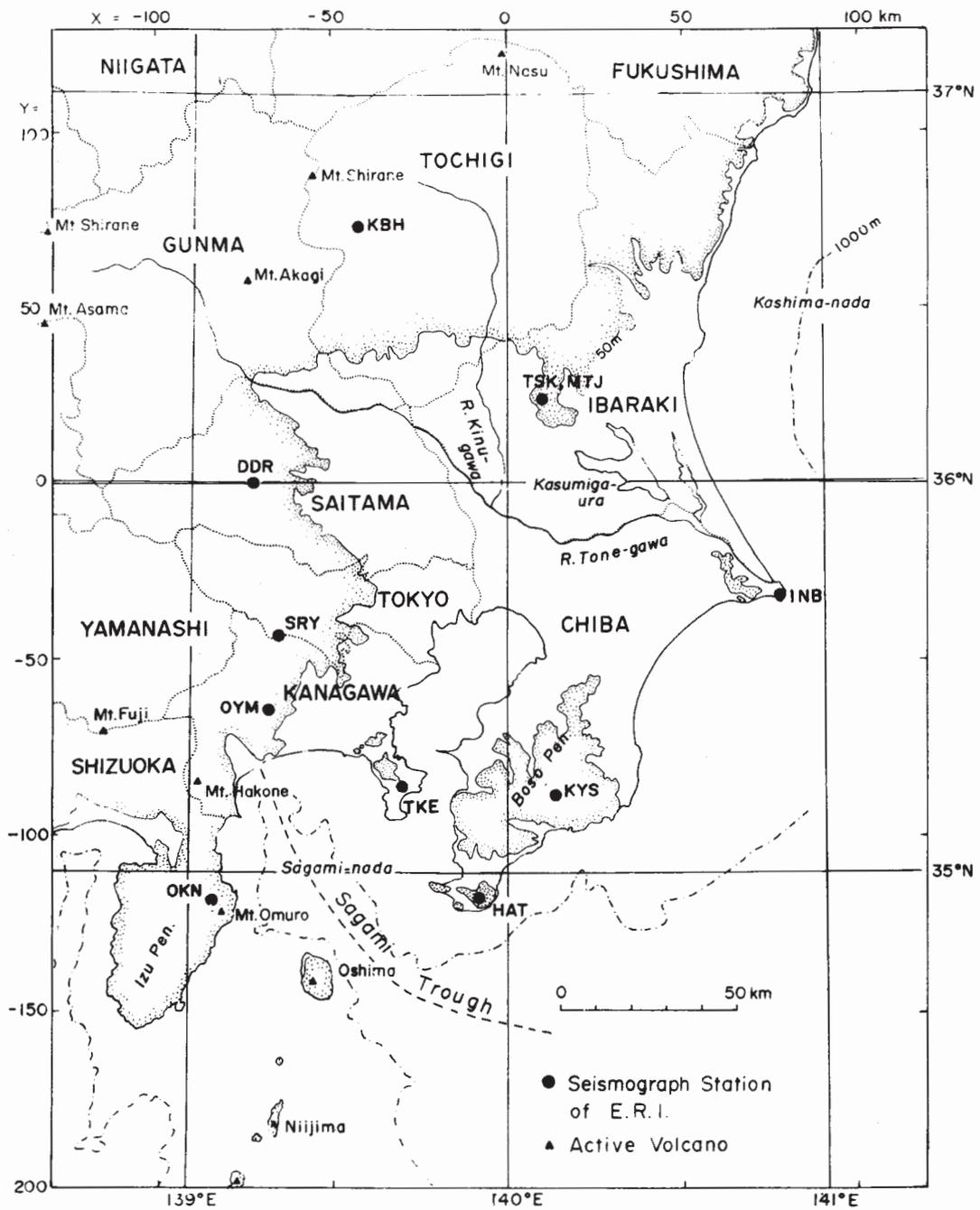
主として用いたのは、第1図に示した観測点のうち、TSK, DDR, KYS, OYMの4点で、その他は2～3ヶ月分だけ用いた。また、大きい地震については、気象庁のデータも利用させて頂いた。観測点、震源決定方法などの詳細は印刷中の論文<sup>1)</sup>を参照して頂きたい。

なお過去に連絡会に報告したもの<sup>2)</sup>とは、その後にデータの追加、修正などを行っているので若干違いがある。また、これは最終結果ではなく、今後さらにデータの点検、追加を行い、さらに精密なものを作成する予定であるが、とりあえず関東地方の震源分布を概観するのに便利であろうと思われるので報告した。

（津村建四朗）

#### 参考文献

- 1) 津村建四朗、関東地方の微小地震活動、関東大地震50周年論文集、（印刷中）
- 2) 東京大学地震研究所地域センター室、1971年7月～12月の関東地方の震央分布図、連絡会会報、7、16 - 19、1972



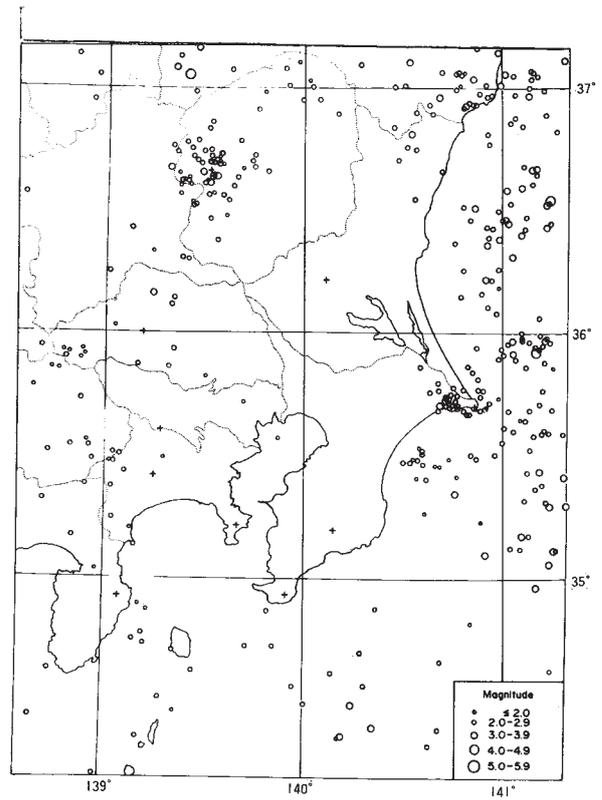
第1図 関東地方の地震研究所高感度地震観測点の分布

Fig. 1 Distribution of the sensitive seismograph stations of the Earthquake Research Institute in the Kanto district

第2図 10 kmごとの震央分布図 ( a ~ s )

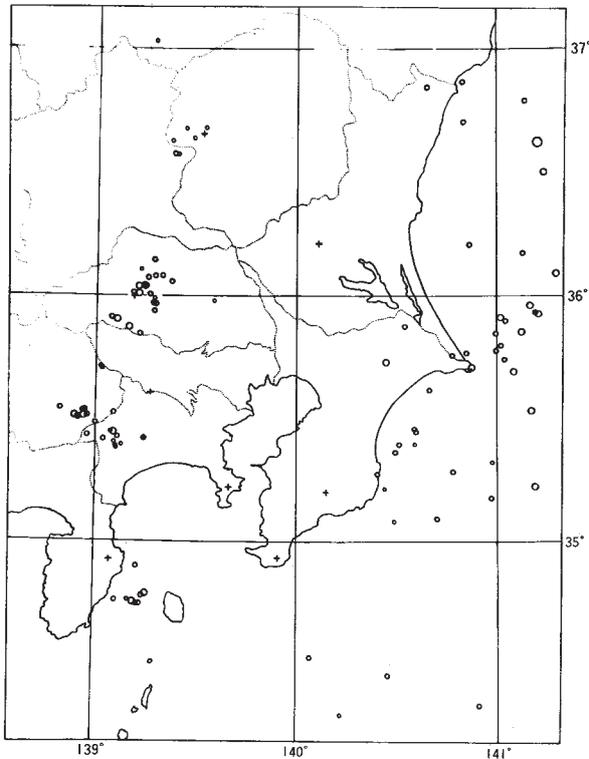
h : 深さ, h = 0 - 9 kmには5 kmに Restrained  
したものを含む。

Fig. 2 Distribution of epicenters of microearthquakes in the every 10km thick layers, based on the ERI network data for the 10 months period, July 1971-June 1972, excluding January and April 1972 h:focal depth, The map for h=0-9km includes earthquakes whose focal depths were restrained to 5km



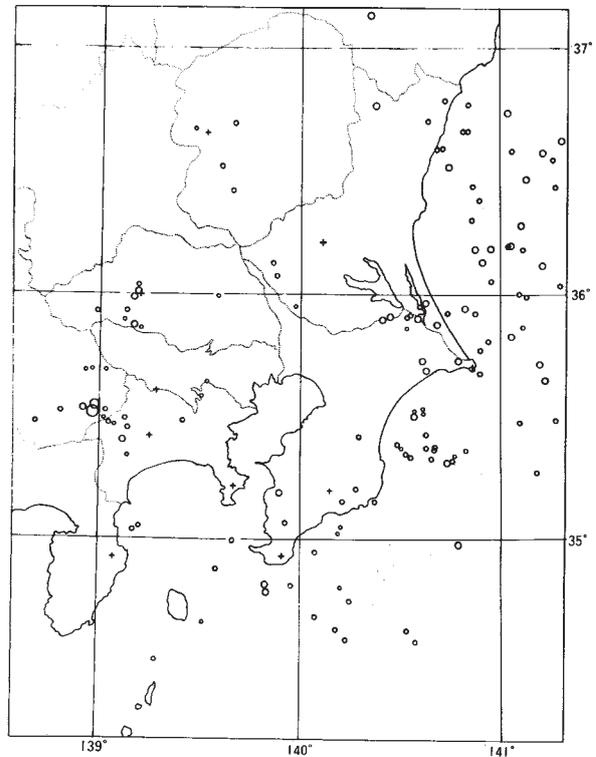
第2図 ( a )

Fig. 2 ( a ) h = 0 - 9 km



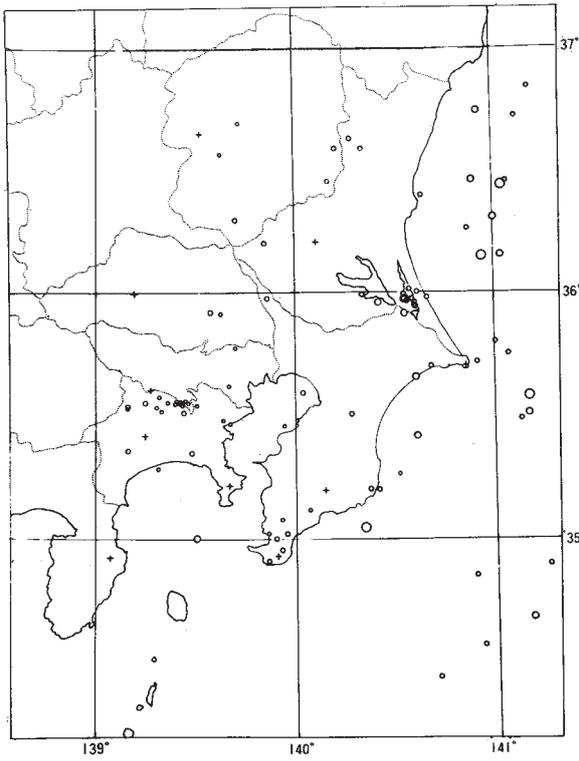
第2図 ( b )

Fig. 2 ( b ) h = 10 - 19 km

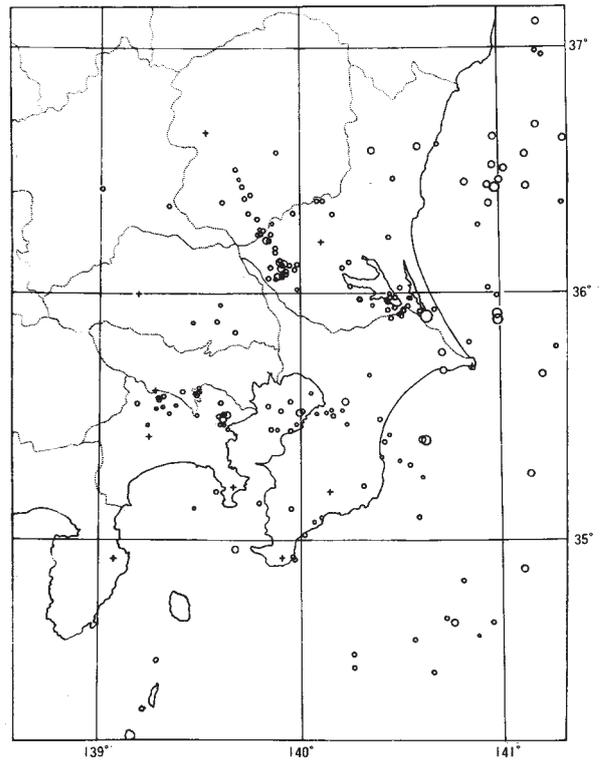


第2図 ( c )

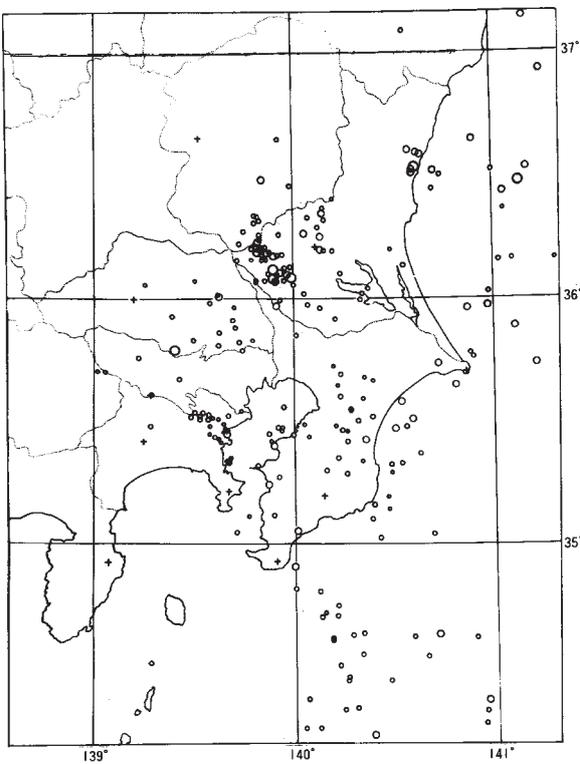
Fig. 2 ( c ) h = 20 - 29 km



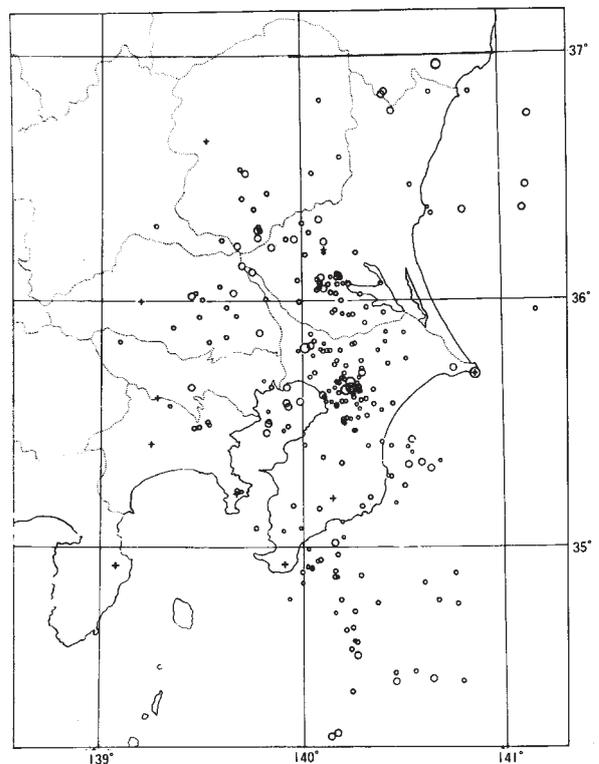
第2図 ( d )  
Fig. 2 (d)  $h=30-39\text{km}$



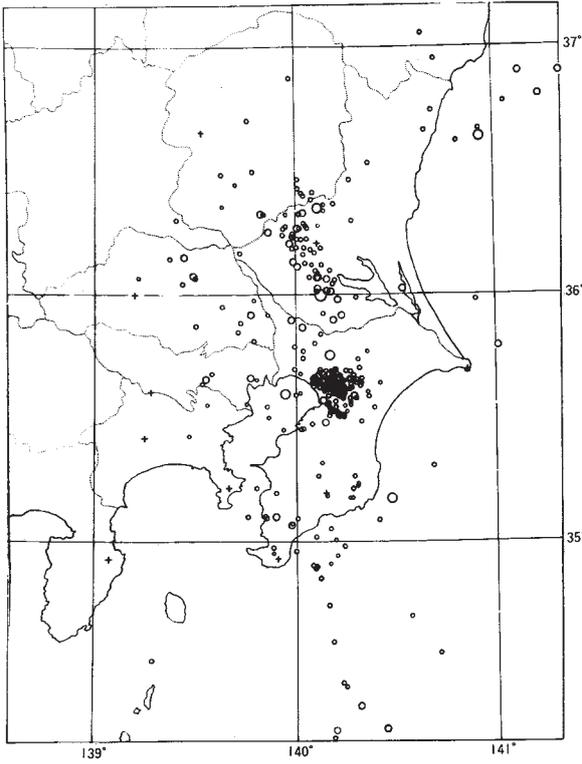
第2図 ( e )  
Fig. 2 (e)  $h=40-49\text{km}$



第2図 ( f )  
Fig. 2 (f)  $h=50-59\text{km}$

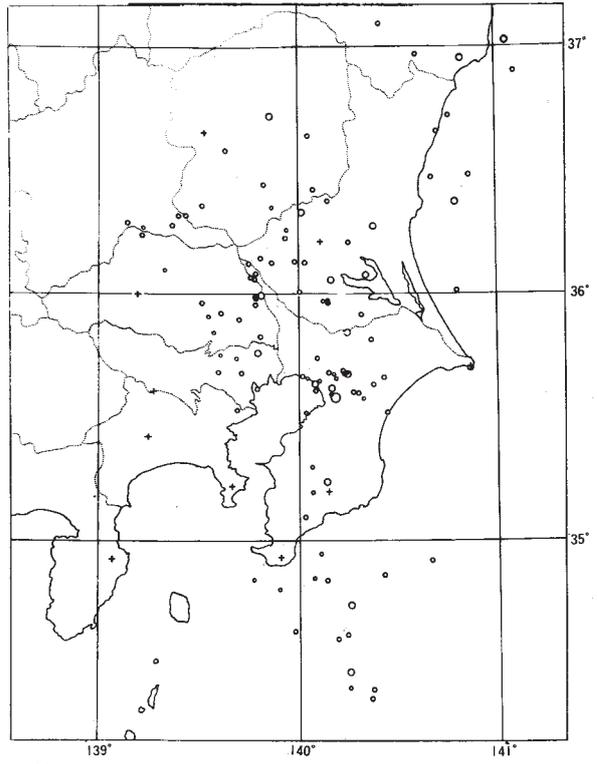


第2図 ( g )  
Fig. 2 (g)  $h=60-69\text{km}$



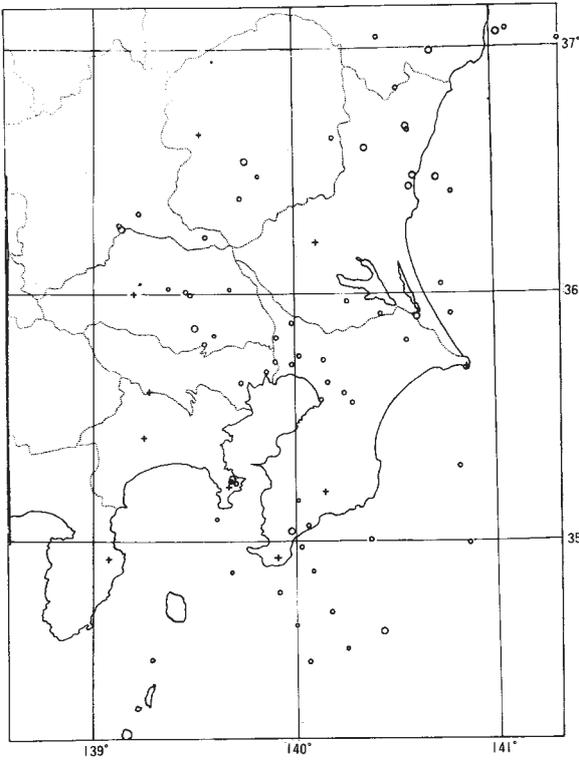
第2図 ( h )

Fig. 2 (h)  $h = 70-79\text{km}$



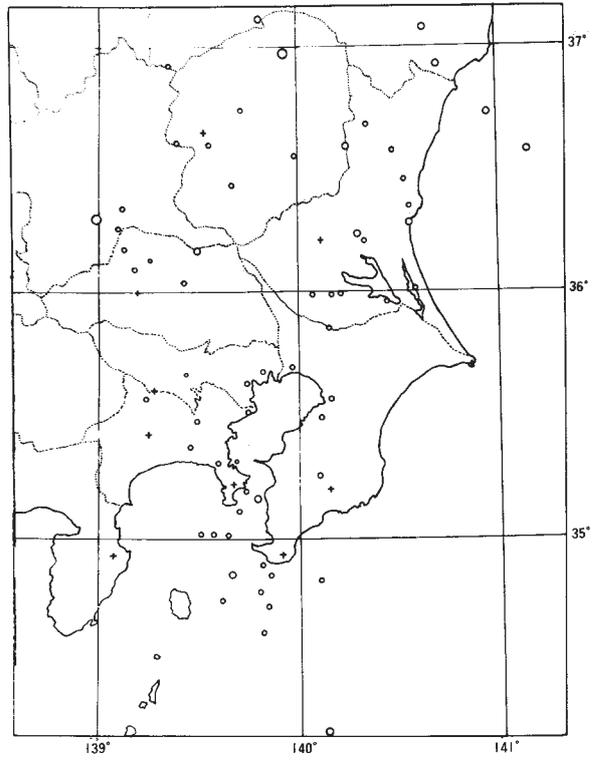
第2図 ( i )

Fig. 2 (i)  $h = 80-89\text{km}$



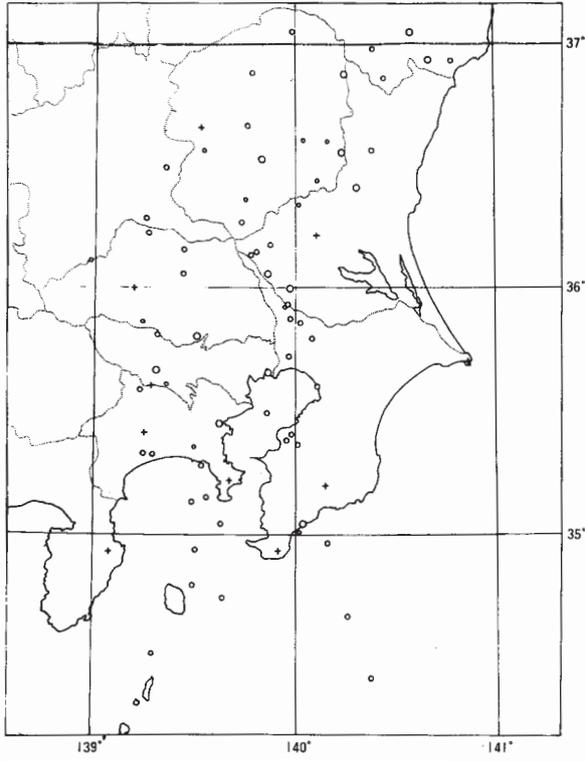
第2図 ( j )

Fig. 2 (j)  $h = 90-99\text{km}$

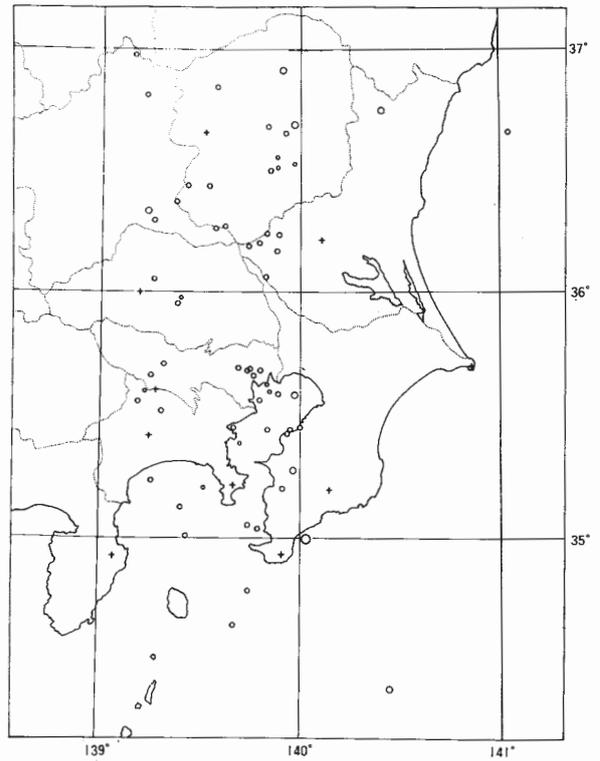


第2図 ( k )

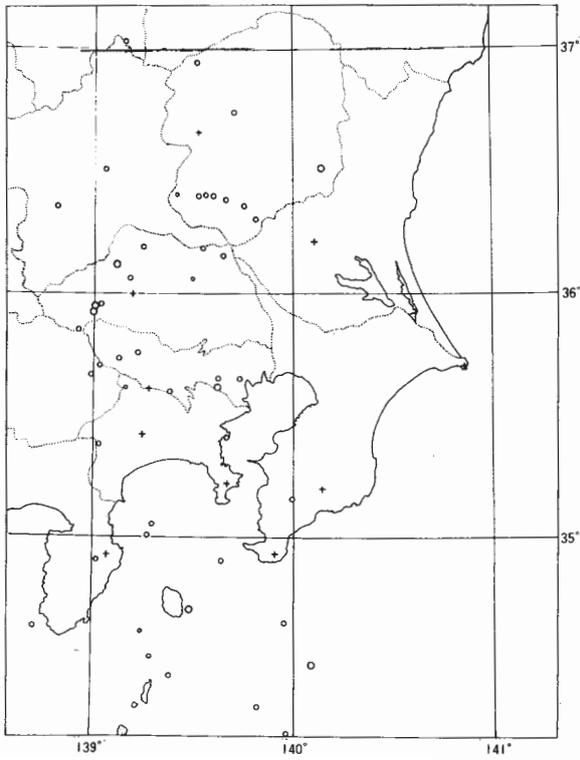
Fig. 2 (k)  $h = 100-109\text{km}$



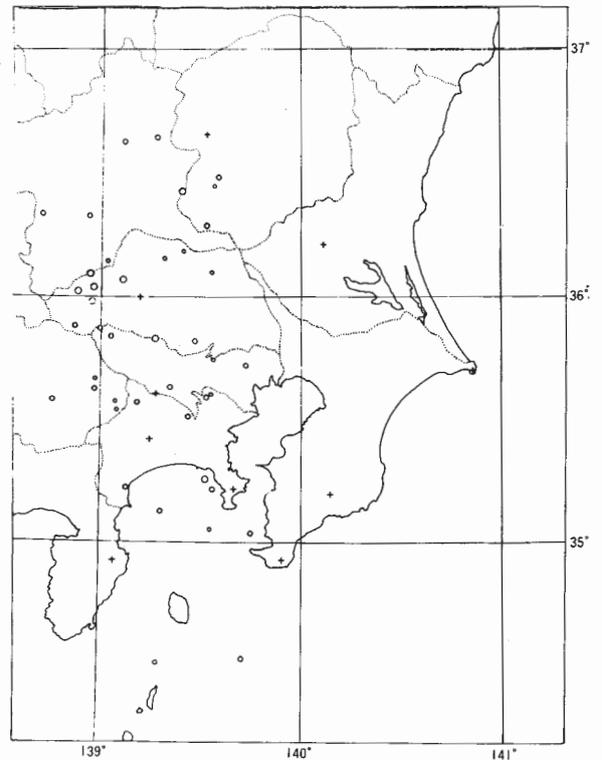
第2図 ( l )  
Fig. 2 ( l )  $h = 110-119\text{km}$



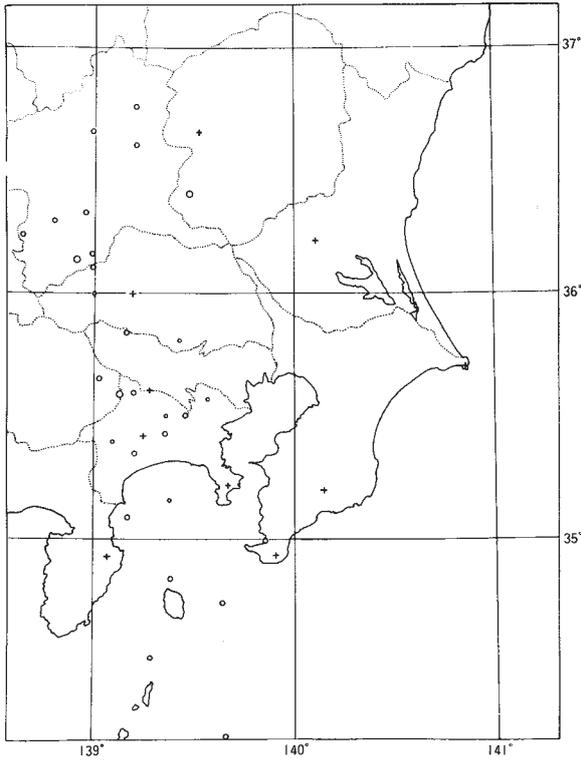
第2図 ( m )  
Fig. 2 ( m )  $h = 120-129\text{km}$



第2図 ( n )  
Fig. 2 ( n )  $h = 130-139\text{km}$

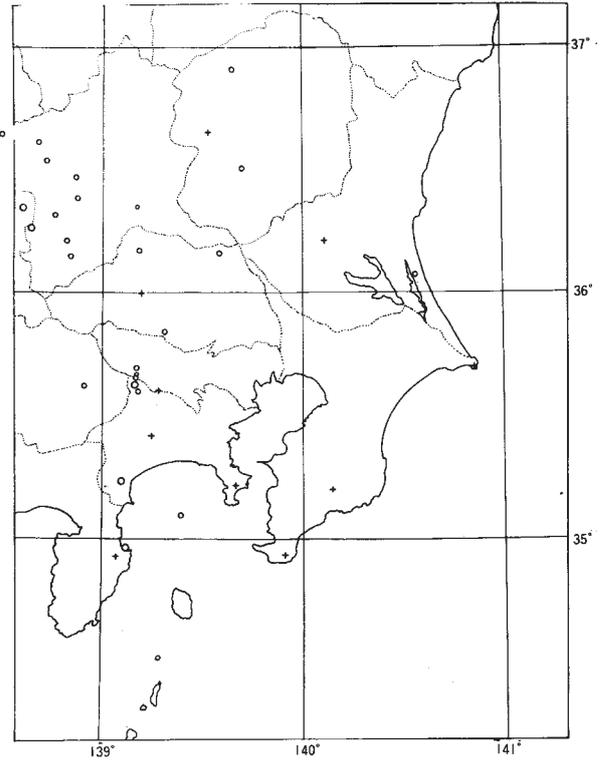


第2図 ( o )  
Fig. 2 ( o )  $h = 140-149\text{km}$



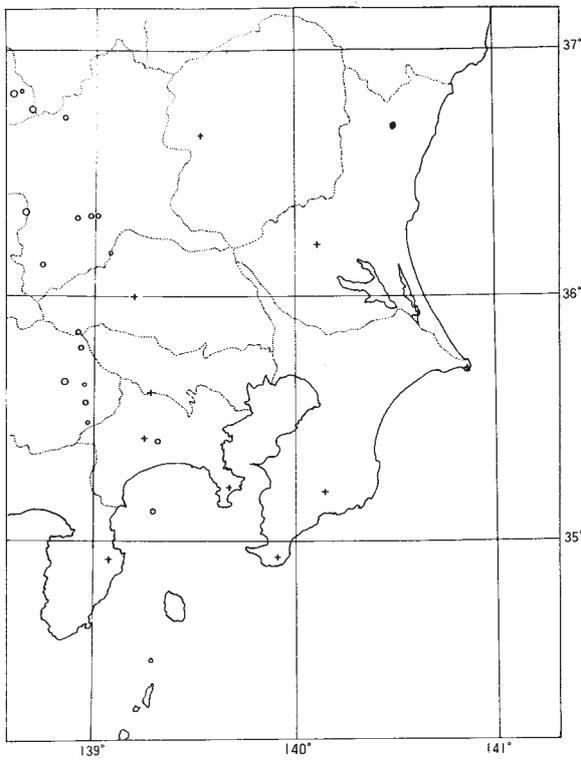
第2図 ( p )

Fig. 2 (p)  $h = 150 - 159\text{km}$



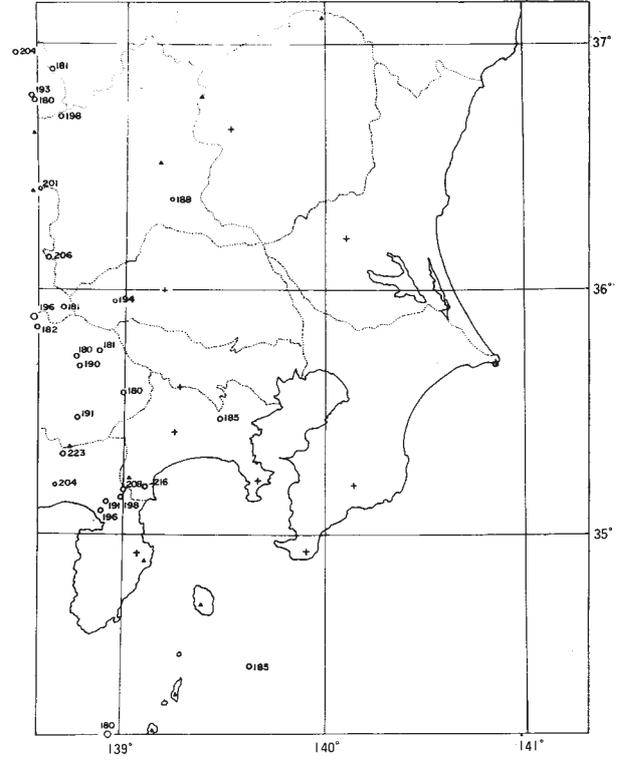
第2図 ( q )

Fig. 2 (q)  $h = 160 - 169\text{km}$



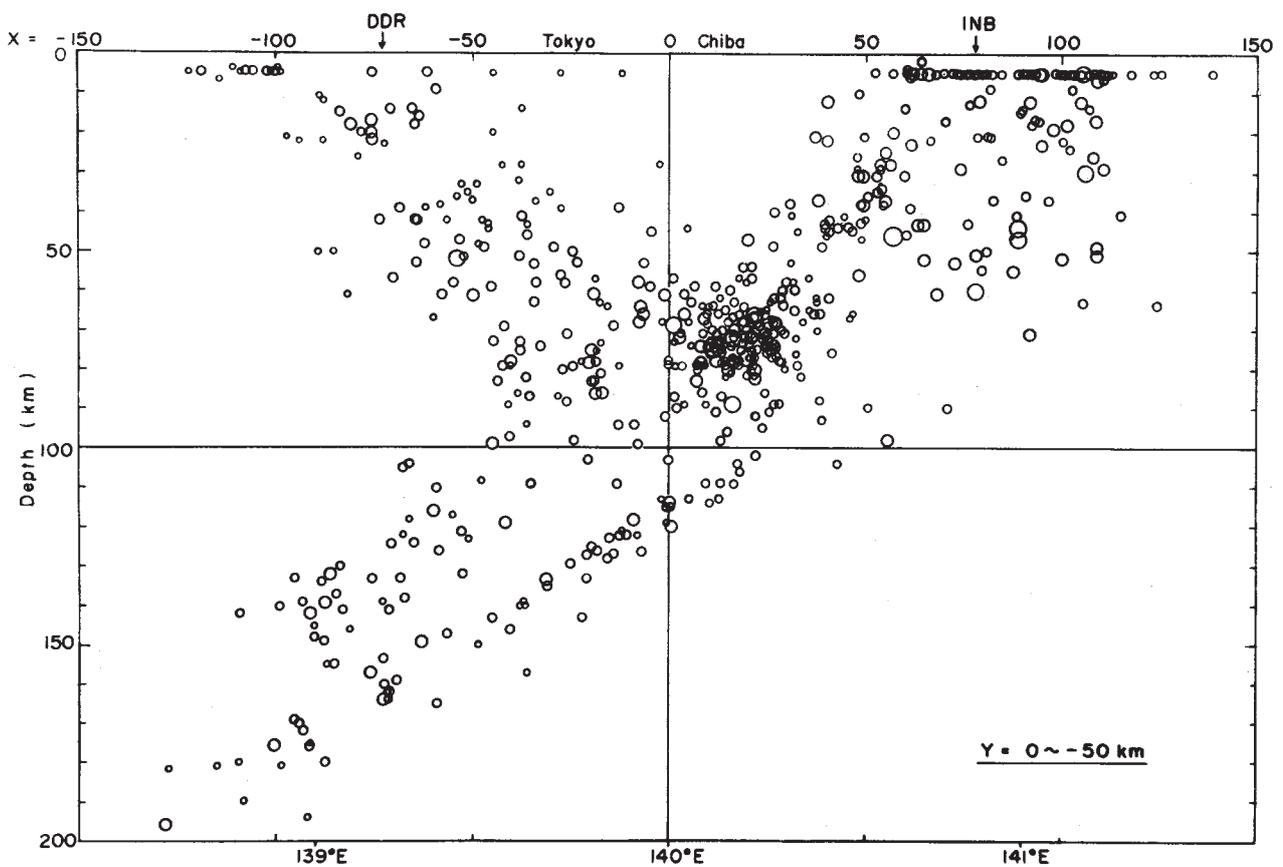
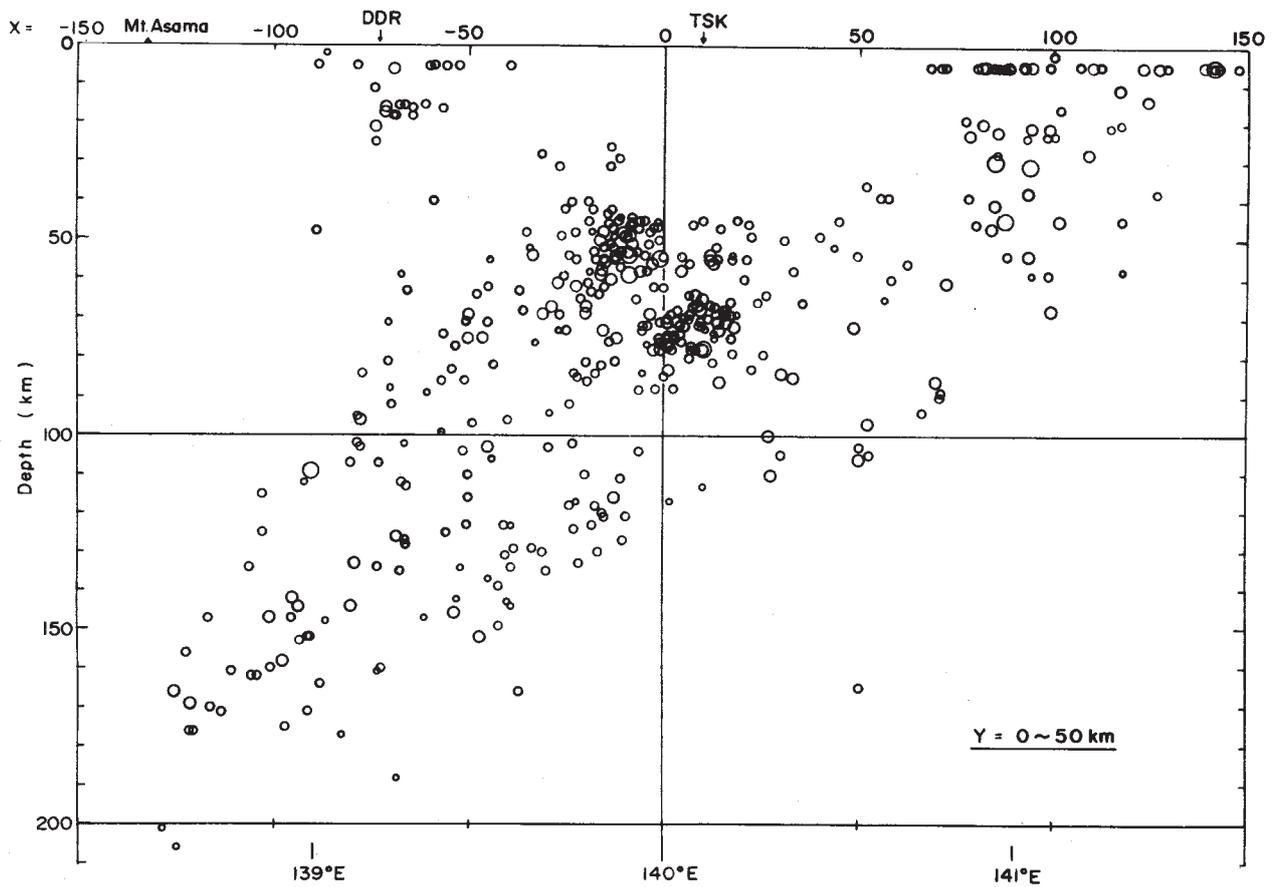
第2図 ( r )

Fig. 2 (r)  $h = 170 - 179\text{km}$



第2図 ( s )

Fig. 2 (s)  $h \geq 180\text{km}$



第3図 36°Nの北(a)と南(b)各50km巾の東西断面図

Fig. 3 Vertical sections for the areas north(a) and south(b) of the 36°N parallel with 50km width each, based on the same data as Fig. 2